

令和5年度第1回 丹波篠山市地元就職推進委員会次第

と き：令和5年10月20日（金）18：30～

ところ：丹波篠山市民センター 研修室5

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委嘱状交付

4. 自己紹介

5. 地元就職推進委員会について 資料1

6. 委員長・副委員長の選任 （委員長 委員、副委員長 委員）

7. 報告事項

（1）会議の公開について 資料2

（2）地元就職推進の取り組み状況について 資料3 資料4

8. 協議事項

（1）令和6年度の事業推進について 資料5

9. その他

10. 閉 会

丹波篠山市地元就職推進委員会設置要綱

令和元年 8 月 20 日
要綱第 46 号

(設置)

第 1 条 この要綱は、新規学卒者等の市内企業への就職を推進するとともに、地元就職の促進に関する施策を検証し、今後の施策に対する提言を行うため、丹波篠山市地元就職推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 地元就職の促進に関する施策の検証に関すること。
- (2) 地元就職の促進に関する今後の施策に対する提言に関すること。
- (3) その他市長が必要と認める事項。

(委員)

第 3 条 委員会は、委員 15 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者又は団体等に属する者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市内各高等学校及び当該高等学校 P T A
- (2) 市内事業者
- (3) 関係行政機関
- (4) 学識経験者
- (5) 公募に応じた者のうちから市長が適当と認める者
- (6) その他市長が必要と認める者

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員長は委員の互選により定め、副委員長は委員の中から委員長が指名する。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(アドバイザー)

第 6 条 委員会の所掌事務に関する助言及び情報提供を受けるため、委員会にアドバイザーを置くことができる。

(会議)

第 7 条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させて、意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第 8 条 委員会の庶務は、企画総務部創造都市課において処理する。

(その他)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

■ 会議の公開について

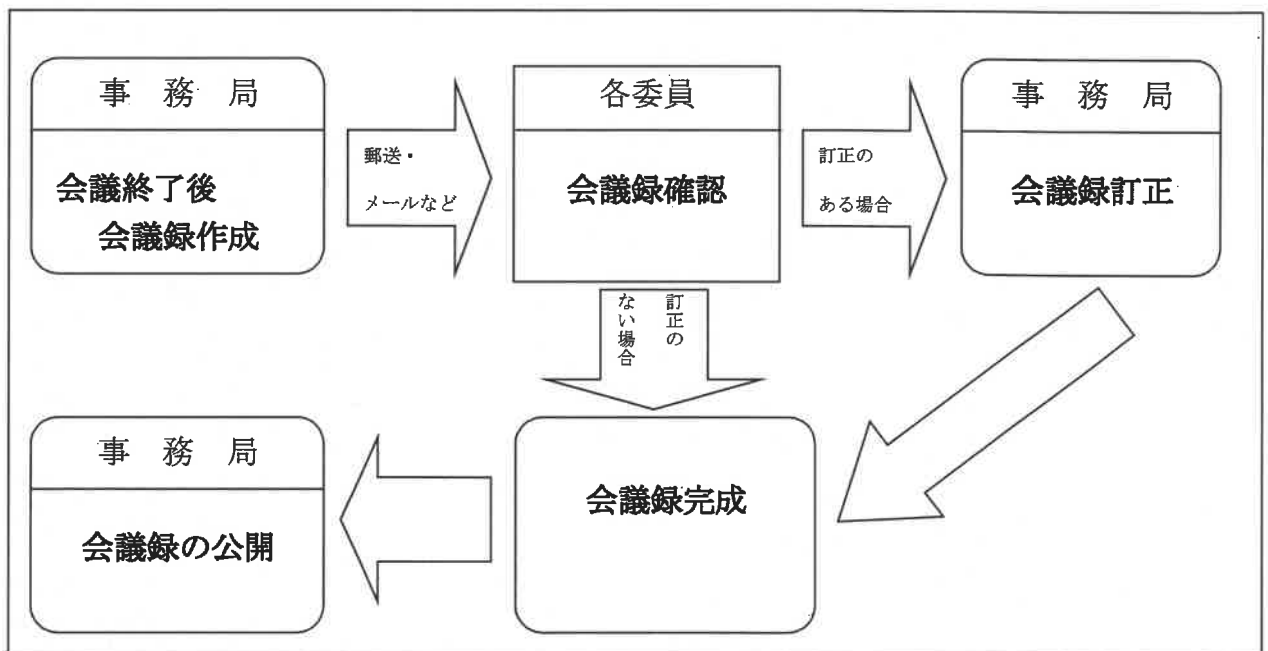
① 会議の公開について

委員会の会議は、「丹波篠山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する条例（以下、「条例」という。）」第3条により、原則、公開とします。

② 会議録の作成・公開について

会議録の作成については、会議後速やかに作成し、委員の皆さんに会議録の内容を確認します。確認方法は、郵送、メール等で会議録案を送信し、期限までに内容訂正等の連絡がない場合は、会議録案の内容について、了解をいただいたものとさせていただきます。訂正等の連絡をいただいた場合は、事務局にて訂正し、会議録を確定し、条例第7条に基づき公開させていただきます。

図 会議録作成から公開までのイメージ



③ 会議録の公開方法について

1) 会議録の公開手段について

会議録の公開手段は、会議資料とともに会議録を市の公式ホームページに掲載します。

2) 会議録の公開事項について




案①：発言者の氏名を伏せて、「A委員」、「B委員」のように表記する方法。



案②：発言者の氏名を明示して「〇〇委員」のように表記する方法。

《 令和5年度 地元就職推進事業について 》





(1) イベント

資料3



取り組みの項目	対象	概要	令和5年度	備考
<p>高校生対象企業紹介フェア</p> 	<p>高校 (3年生)</p>	<p>高校3年生の就職希望者を対象とした、参加企業との個別面談方式による企業の魅力を紹介する。 篠山産業高校、篠山東雲高校、氷上高校、氷上西高校の授業時間を使って実施した。</p>	<p>日時：4月26日(水) 13:30~15:35 場所：丹波篠山総合スポーツセンター 参加企業：60社(丹波篠山市企業30社、丹波市企業30社) 参加人数：高校3年生 136名</p>	<p>・丹波篠山市・丹波市・丹波地域人材確保協議会と共催で開催。</p>
<p>丹波篠山市しごと探求フェア</p> 	<p>高校 (2年生)</p>	<p>高校2年生の就職希望者(東雲は2年生全員)がパネルや製品等の展示と共に仕事体験・企業説明学習会を通じて、職業について学ぶ。篠山産業高校、篠山東雲高校が授業時間を使って参加する。</p>	<p>時期：12月14日(木) 場所：丹波篠山市市民センター 参加企業：約20社</p>	
<p>高校生・教職員対象企業見学会</p> 	<p>高校 (2年生)</p>	<p>高校2年生の就職希望者及び高校教職員を対象とした企業見学会。篠山産業高校、篠山東雲高校それぞれに授業時間を使って実施する。 ※篠山鳳鳴高校は参加希望の教職員が参加予定。</p>	<p>時期：【東雲】令和6年3月6日(水) 【産業】令和6年3月7日(木) 場所：各市内企業 参加企業：約15社 ※各校ともに1コース3社見学を予定(昨年度参考) 【産業】4コース、【東雲】2コース実施</p>	
<p>キャリア教育出前講座</p> 	<p>高校 (1年生)</p>	<p>高校1年生の早い段階から「地元で働く選択肢」があることを周知し、地元企業で活躍する若者から「地元企業での活躍」、「丹波篠山市で暮らし、働く良さ」、「大人になって楽しいこと」、「意外と知らなかった社会のルール」などの体験談を通じて、市内企業の魅力や丹波篠山で働く良さなどを伝え、生徒の職業観や就労観を育み、地元就職の良さを伝える。</p>	<p>時期・参加者・参加企業 ①令和5年10月4日(水) 篠山鳳鳴高等学校 1年生 131名・18社 ②令和6年1月12日(金) 篠山東雲高等学校 1年生 ③令和6年3月5日(火) 篠山産業高等学校 1年生</p>	<p>昨年同様、以前より「キャリア教育」に取り組み一般社団法人BEETに全体講話をはじめ、全体構成についてのアドバイスや協力いただきました実施。</p>

常設企業紹介コーナー 	一般	丹波篠山市民センター北側出入口に常設するショールームで、市内企業の製品、パネル等を展示し企業の魅力を紹介する。	時期：通年（7月・1月に展示企業の入れ替え） 場所：丹波篠山市民センター 対象者：市民 参加企業：20社	
丹波地域の企業と大学等との就職情報交換会（※人材確保協議会事業） 	大学	丹波地域の企業と、大学のキャリアアセンサー担当者の情報交換会。新規卒者のUIJターン就職等の促進を図る。丹波地域企業の採用担当者向けの人材確保に関するセミナーを開催予定。	時期：令和6年2月頃 場所：神戸市内 参加者：丹波地域企業の採用担当者 大学等のキャリアアセンサー担当者	丹波地域人材確保協議会の主催

(2) 広報活動

取組みの項目	対象	概要	令和5年度	備考
「丹波篠山市しごと情報サイト」 LINE登録者増に向けたPR活動   【しごと情報サイトQRコード】	大学	主に市内高校卒業生（大学等への進学者）を対象に、仕事に関する情報（企業の事業内容、インタビュー記事、就職イベント情報等）を掲載。SNS（LINE）で定期的に情報発信（月2回）し、就職イベント、求人情報、支援制度等を周知。 はたちのつどい時に登録増に向けたPRを実施。	・企業情報、求人情報の更新 ・企業が制作した採用動画を紹介 ・インタビュー記事の掲載 ・登録者へのLINEによる情報提供 しごと情報サイト運営業務委託料 1,067,000円 高校生、新成人へのLINE登録増強 350,000円（ノベルティ）	
企業紹介ガイドブックの活用 	高校 大学 一般	人材確保を行う企業の概要、実際に働く人を紹介した冊子を発行（令和4年11月）し、全戸配布している。高校生・大学生等にも配布し、就職活動での活用を図る。	高校での就職指導、就職イベント等での活用を促進する。掲載データはしごと情報サイトにも掲載し、次回作成時の校正等に役立てることで企業負担を軽減する。 2年ごとに作成するため、令和6年度作成予定。	
市広報への記事掲載 	一般	地元就職推進の取り組みを、市広報紙で掲載する。新規卒業者が、就職を検討する際に「市内で働く」という選択肢があることを伝える。	掲載期間：通年 これまでの「丹波篠山で働くシアワセ」（企業で働く従業員のインタビュー）に加え、市内高校での取り組みを特集記事等で掲載する。	

(3) 奨励金・補助金

取り組みの項目	目的	令和5年度	備考
<p>新規学卒者就職奨励金</p> 	<p>若者の市内就職と定住を図り、市内企業の人材確保を支援するため、市内企業へ就職した新規学卒者で、市内に住所を有している人に対して奨励金を交付する。(就職時に5万円、就職後1年経過時に5万円)</p>	<p>・就職者には地元就職の動機付けとなるよう周知を図る。 ・企業には採用活動に役立ててもらおうよう周知を図る。 申請：47人(R5就職者) 39人(R4就職後1年経過者) 事業費：4,300,000円</p>	
<p>展示会等事業補助金</p> 	<p>市外で行われる展示会、学生等の就職希望者を対象とした就職説明会等への出展経費を補助する。(補助対象経費の2分の1を補助、補助上限20万円)</p>	<p>就職説明会等への出展を計画する企業へ周知を図る。 申請：3社 事業費：481,000円</p>	

◎市内高校における市内事業所への就職状況

資料4

		創造都市課調べ						R5.10時点			
		H27.3卒		H28.3卒		H29.3卒		H30.3卒		H31.3卒	
篠山産業	卒業者数	230		235		162 丹南校閉校		177		179	
	就職者数	135		106		98		81		107	
	進学者数	95	41.3%	129	54.9%	64	39.5%	96	54.2%	72	40.2%
	市内内就職者数	36	26.7%	28	26.4%	21	21.4%	15	18.5%	23	21.5%
篠山東雲	卒業者数	36		35		33		28		26	
	就職者数	21		16		17		15		11	
	進学者数	15	41.7%	19	54.3%	16	48.5%	13	46.4%	15	57.7%
	市内内就職者数	17	81.0%	10	62.5%	13	76.5%	7	46.7%	7	63.6%
篠山鳳鳴	卒業者数	183		179		171		144 4クラスに減		155	
	就職者数	2		2		3		1		5	
	進学者数	181	98.9%	177	98.9%	168	98.2%	143	99.3%	150	96.8%
	市内内就職者数	0	0.0%	1	50.0%	2	66.7%	1	100.0%	4	80.0%
篠山養護	卒業者数	9		5		7		7		6	
	就職者数	5		2		3		1		2	
	進学者数	4	44.4%	3	60.0%	4	57.1%	6	85.7%	4	66.7%
	市内内就職者数	3	60.0%	2	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	2	100.0%
全体	卒業者数	458		454		373		356		366	
	就職者数	163		126		121		98		125	
	進学者数	295	64.4%	328	72.2%	252	67.6%	258	72.5%	241	65.8%
	市内内就職者数	56	34.4%	41	32.5%	39	32.2%	24	24.5%	36	28.8%

		R2.3卒		R3.3卒		R4.3卒		R5.3卒		R6.3卒 (見込)	
篠山産業	卒業者数	177		158		123		137		136	
	就職者数	102		87		62		61 公務員2		59	
	進学者数	75	42.4%	71	44.9%	61	49.6%	76	55.5%	77	56.6%
	市内内就職者数	19	18.6%	18	20.7%	16	25.8%	13	21.3%	15	25.4%
篠山東雲	卒業者数	25		29		24		23		18	
	就職者数	9		15		12		16		8	
	進学者数	16	64.0%	14	48.3%	12	50.0%	7	30.4%	10	55.6%
	市内内就職者数	5	55.6%	9	60.0%	6	50.0%	5	31.3%	5	62.5%
篠山鳳鳴	卒業者数	159		154		134		143		100	
	就職者数	5		5		1		3 公務員2		6 未定	
	進学者数	154	96.9%	149	96.8%	133	99.3%	140	97.9%	94	94.0%
	市内内就職者数	2	40.0%	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%
篠山養護	卒業者数	2		3		5		6		2	
	就職者数	0	就労支援2	2	就労支援1	1	就労支援4	4	就労支援2	未定	
	進学者数	2	100.0%	1	33.3%	4	80.0%	2	33.3%		
	市内内就職者数	0		2		1		4			
全体	卒業者数	363		344		286		309		256	
	就職者数	116		109		76		84		73	
	進学者数	247	68.0%	235	68.3%	210	73.4%	225	72.8%	183	71.5%
	市内内就職者数	26	22.4%	32	29.4%	23	30.3%	22	26.2%	22	30.1%

令和6年度の事業推進について

1. イベント

対象	取り組みの項目
高校	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育出前講座（先輩就職者との座談会） <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●しごと探求フェア（体験をテーマにした出前授業） ●高校生&教職員対象企業見学会（事業所の見学） <p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高校生対象企業紹介フェア「丹波篠山幸せしごとフェア」（採用担当者等との面談）
大学等	●丹波地域の企業と大学等との就職情報交換会（丹波地域人材確保協議会事業）
企業	●人材確保セミナー（丹波地域人材確保協議会事業）
一般	●常設企業紹介コーナー
<p>《施策の検証》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校進路指導部との打ち合わせや意見交換を重ね、高校3年間を通じた取り組みが定着。学校からは生徒のキャリア形成に役立っているとの評価を得ている。また、企業側の参加も積極的で、企業アンケートではほぼ全社が「また参加したい」と回答している。 ・キャリア教育出前講座（鳳鳴高校）の高校生へのアンケートでは、約9割が「おもしろかった」と回答。また、半数以上の生徒が「将来、丹波篠山市で働く選択肢が増えた」と回答した。 ・高卒求人は売り手市場が続いている。市内企業を知ってもらう取り組みと併せて、進学者には市から就職情報などが発信できるLINE登録について、新たにノベルティとしてクオカードを配布し登録者を増やす取り組みをスタートした。 	
委員会の検証・提言など	

2. 広報活動

対象	取り組みの項目
小学校 中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●教材として企業ガイドブックを配布 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の企業を知るための学習教材として配布 ・トライやるウィークや企業見学などの実施に向けた協力
高校	<ul style="list-style-type: none"> ●進路指導でのしごと情報サイト、企業ガイドブックの活用 ●大学等への進学者に対するLINE登録のよびかけ
大学等	<ul style="list-style-type: none"> ●「はたちのつどい」時でLINE登録PRイベントを実施 ●LINE登録者への情報提供
一般	<ul style="list-style-type: none"> ●市広報への記事掲載 ●企業ガイドブックの制作、全戸配布
<p>《施策の検証》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校では企業ガイドブックを活用し、企業見学やトライやるウィークが実施されている。また、企業との連絡調整に市が協力している。 ・企業ガイドブックや市広報では、単なる企業情報だけでなく、実際に働く若手職員の声や地元就職の良さなどを伝える記事を掲載。 ・しごと情報サイトは、企業情報や働く人のインタビューのほか、ハローワークの求人情報を定期的に更新し、幅広く利用いただいている。 ・市から就職情報などが発信できるLINEへの登録者数は現在約500件。高校生が就職する企業を検討する際に、地元企業の情報を調べることができる。また、市外へ進学し、丹波篠山市を離れても、丹波篠山市の就職情報が定期的に配信されるので、地元企業に目を向けるきっかけとなる。 	
<p>委員会の検証・提言など</p>	

3. 補助金・奨励金

対象	取り組みの項目
新規学卒の地元就職者	●新規学卒者就職奨励金
企業	●出展事業補助金（求人を目的とした就職説明会への参加経費補助） ●兵庫型奨学金返済支援制度
<p>《施策の検証》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者就職奨励金は、年 50 人前後の就職者が申請され、高卒の申請者は減、大学等卒の就職者が増加傾向。制度をスタートした平成 29 年度から 6 年が経過し、制度周知も進み、企業の採用活動に役立てられている。 ・新規学卒就職奨励金交付対象者へのアンケート結果によると、市内事業所への就職を決めたきっかけは、「仕事内容で決めた」「地元就職しなかった」が 53%、「福利厚生で決めた」が 26% 「給与」が 18% という結果。給与面より、仕事内容や福利厚生などを重視する傾向となっている。 ・新規学卒就職奨励金交付対象者（大学生等）へのアンケート結果によると、奨学金を借りている割合は 39% で、返済が必要な貸与型を利用している割合は 32% である。 ・出展事業補助金は主に介護関係や製造業事業者が、神戸・大阪・東京などの大都市で行われる就職フェア出展時に利用されており、企業の採用活動に役立てられている。 ・従業員の奨学金返済を支援する兵庫型奨学金返済支援制度の利用は徐々に増加し、市内では 4 事業所が奨学金返済制度を設けている。さらなる事業周知が必要である。 ・人材確保に向け、企業自身の採用条件面などを改善する企業が増えている。 	
委員会の検証・提言など	